

本市の結果の概要について

(平均正答率 単位%)

	小学校第6学年					中学校第3学年				
	国語		算数		理科	国語		数学		理科
	A	B	A	B		A	B	A	B	
全国	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
埼玉県	81.3	55.4	72.1	58.7	60.4	74.7	63.1	60.2	48.1	48.8
戸田市	82.8	57.6	74.1	61.9	62.8	75.5	64.5	60.2	47.4	48.8

※抽出校(小学校3校、中学校2校)及び希望利用校(小学校9校、中学校4校)の結果を合算集計している。

(1) 国語について

小・中学校ともに、知識に関するA問題、活用に関するB問題について、全国及び県平均を上回っている。また、A問題、B問題ともに昨年度の正答率を上回っている。小・中学校において、目的や他者を意識して、わかりやすく説明したり、詳しく書いたりする活動の充実が図られた成果と考える。
 今後、より一層、情報を正確に読み取った上で、話したり書いたりすることや、相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書くことなどを充実させる必要がある。

(2) 算数・数学について

小学校では、知識に関するA問題、活用に関するB問題ともに、全国及び県平均を上回っている。基礎的・基本的な知識の定着が図られていることがうかがえる。今後、より一層、児童自らが、学習した知識を活用する活動などを充実させる必要がある。
 中学校では、A問題は県平均と同等であるが全国平均を下回っている。B問題は全国及び県平均を下回っている。中学校では、知識の定着に若干ではあるが改善が見られる。今後は、数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取る活動などを充実させる必要がある。

(3) 理科について

小学校では全国及び県平均を上回っている。今後はより一層、観察・実験の結果を整理し考察したり、説明したりする活動などを充実させる必要がある。
 中学校では県平均と同等であるが全国平均を下回っている。今後は、基礎的・基本的な知識の定着に加えて、実験の計画や考察などを検討し、改善したことを、科学的な根拠を基に説明する活動などを充実させる必要がある。

(4) 学習状況調査【児童生徒質問紙】について

ア 児童質問紙調査(小学校)

- ・就寝時刻については、普段(月～金曜日)午後10時から午前0時の間に寝る児童の割合が56%であり、全国平均及び埼玉県平均に比べ高くなっている。(全国51%、埼玉県48.9%)
- ・携帯電話の保有率が高く(戸田43.5%、全国35.9%、埼玉県36.7%)、携帯電話で通話やメールを「ほぼ毎日している」「ときどきしている」児童の割合を合わせると37.3%になる。(全国:28.2%、埼玉県:29.5%)
- ・学習塾(家庭教師を含む)で勉強している児童の割合が高い。(戸田49.1%、全国47.6%、埼玉県50.5%)

イ 生徒質問紙調査(中学校)

- ・携帯電話の保有率が高く(戸田78%、全国61.5%、埼玉県70.9%)、携帯電話で通話やメールを「ほぼ毎日している」「ときどきしている」生徒の割合を合わせると72.8%である。(全国56.3%、埼玉県65.7%)
- ・読書の傾向については、家や図書館で普段(月～金曜日)、1日に全く読書をしない生徒の割合が高い。(戸田38.9%、全国36.8%、埼玉県30.8%)
- ・学校の宿題については、家で「あまりしていない」「全くしていない」生徒の割合を合わせると22%である。(全国14.2%、埼玉県20.1%)